

一般社団法人管路診断コンサルタント協会

顧問 永井 周



私は2013年（平成25年）より2023年（令和5年）まで5期理事を務め、その間会計担当、総務委員長、技術委員長を拝命し、令和6年度事業より顧問を仰せつかっております。

この直近10年間は、管診協にとっては変革の時期であったと思っています。協会はマニュアルや歩掛の発刊、技術講習会の開催等の活動を継続的に行っていますが、協会活動の基となる中期ビジョンは、策定開始から概ね5年単位で4回を数え、その方向性の変化を感じます。

これまでの中期ビジョンは3本柱となる目標を掲げてその実現を目指して活動していますが、過去から現在を見ると「内向きから外向きに」変遷していることがうかがえます。つまり会員サービス向上は常としても、外部への発信、外部との交流を重要視するという方向です。

次世代に向けての新中期ビジョンに期待するところですが、今期からは上水道分野にも裾野を広げ、管路技術に特化したユニークな技術集団の協会として、実務者へ向けての新しい技術提供が実現できることを祈念しています。